

地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

チャレンジ&チェンジ！2025 -海拔0m～3,000mへの挑戦-

1 ねらい

・富山県の雄大な自然にふれながら、海拔0m～3,000mを自力で踏破することにより、仲間との絆を深め、仲間とともに達成感を味わい、課題解決力を育む。また、小学生と中学生の異年齢による集団において、長期間、様々な人と関わりながら一緒に活動に取り組むことで、主体性、社会性を養うとともに、豊かで自立した人格形成の基礎を培う。

2 期日

ボランティア研修会 : 令和7年7月19日(土)～21日(月・祝) 【2泊3日】
事前説明会 : 令和7年7月20日(日) 【日帰り】
事業本番 : 令和7年8月2日(土)～10日(日) 【8泊9日】

3 対象

小学校5年生～中学校3年生

4 募集人数 / 応募人数 / 参加人数

18名 / 25名 / 18名

5 講師・スタッフ

【ボランティア研修会】

立山ガイド協会・登山ガイド 大塚 憲一 氏
法人ボランティア6名

【事業本番】

富山県[立山博物館] 副主幹 細木 ひとみ 氏
国立登山研修所 専門職 黒川 和英 氏
立山ガイド協会・登山ガイド 大塚 憲一 氏
立山ガイド協会・登山ガイド 中村 俊啓 氏
看護師 舟川 絢子 氏
法人ボランティア6名

6 共催・後援・協賛・協力

共催：(独)日本スポーツ振興センター 国立登山研修所

後援：富山県教育委員会 新潟県教育委員会 立山町教育委員会 北日本新聞社 Net3

協賛：アサヒ飲料株式会社北陸工場 株式会社池田模範堂 かわもとスポーツ
トヨタモビリティ富山株式会社 日の出屋製菓産業株式会社ささら屋立山本店
横山冷菓株式会社 株式会社モンベル
株式会社ベルカディアモンベルヴィレッジ立山店

協力：立山あるぺん村 立山ガイド協会 立山町立雄山中学校 立山室堂山荘 天狗平山荘
天望立山荘 富山県立山カルデラ砂防博物館 富山県[立山博物館]
富山市立浜黒崎小学校

7 日程

・ボランティア研修会

| 日付 | 曜日 | 午前 | 午後 | 夜 |
|-----------|----|--|---|---------------------|
| 7月 19日 | 土 | ・自転車行程下見 浜黒崎小学校→あるぺん村→らいちょうバレースキー場 | | ・細案読み合わせ ・安全管理研修 |
| 20日 | 日 | ・事前説明会（前半） 事業のねらい説明 食事、飲料水、会計等説明 保険、活動写真配布説明 持ち物説明 | ・事前説明会（後半） 健康状況聞き取り ボラと交流活動 質疑応答 | |
| 21日 | 月祝 | ・登山行程③下見 室堂→一の越→雄山→大汝→雄山→一の越→室堂 | | |

・事業本番

| 日付 | 曜日 | 午前 | 午後 | 夜 |
|----------|----|--|-------------------------------|---------------------------|
| 8月 2日 | 土 | ・出会いの集い | ・班タイム ・野外炊事 | ・班タイム ※自然の家泊 |
| 3日 | 日 | ・自転車練習 ・立山ジョイフレンド | ・森の遊び場づくり | ・班タイム ・星空観察 ※自然の家泊 |
| 4日 | 月 | ・自転車行程 浜黒崎小学校→あるぺん村→立山山麓スキー場 | | ・班タイム ※自然の家泊 |
| 5日 | 火 | ・歩行行程 立山山麓スキー場→ カルデラ砂防博物館 | ・カルデラ砂防博物館見学 ・富山県[立山博物館]見学 | ・班タイム ・パッキング ※自然の家泊 |
| 6日 | 水 | ・登山行程① 千寿ヶ原→美女平 (天候不良により、美女平→弥陀ヶ原はバスで移動) | | ・班タイム ※立山荘泊 |
| 7日 | 木 | ・登山行程② (天候不良により、弥陀ヶ原→室堂はバスで移動) | | ・班タイム ※室堂山荘泊 |
| 8日 | 金 | ・登山行程③ 室堂→一の越→雄山→大汝→雄山→一の越→室堂 | | ・班タイム ・星空観察 ※室堂山荘泊 |
| 9日 | 土 | ・室堂散策 | ・班タイム ・ファイナルパーティ準備 | ・ファイナルパーティ ※自然の家泊 |
| 10日 | 日 | ・班タイム ・別れのつどい | | |

8 参加者からの事後アンケート

- ・私はチャレンジ&チェンジで「仲間の大切さ」を学ぶことができました。最初は不安なことや、分からないことがたくさんあったけど、仲間に支えられながら楽しく活動することができました。登山行程では悪天候で歩けなかった区間もあったけど、最終日は一人も欠けずに笑顔で山頂に立つことができ嬉しかったです。山頂から見た景色は最高でした。また、私は人前で話すことが苦手なのですが、班の話し合いでは仲間が話しやすい雰囲気をつくってくれたため、自分の意見をしっかりと言うことができました。このチャレンジ&チェンジでできたことを今後も続けていこうと思います。
- ・私はチャレンジ&チェンジに参加して、とても楽しい9日間を過ごすことができました。最初は家族に会えなくて寂しさを感じていましたが、みんなと仲が深まっていくうちに、不安な気持ちが消えていきました。自転車行程や登山行程では、体力的に辛かったけど、終わった時の達成感はずよかったです。特に登山行程では、室堂山荘付近で雷鳥を見ることができたり、一の越からの細くゴツゴツした道を登り切ることができたりしたので、中身が濃かったです。出会った仲間と会えなくなるのは寂しいけど、チャレンジ&チェンジでできたことをこれからの生活にいかしていきたいと思います。
- ・僕は「仲間の大切さ」と「支えてくれる人の大切さ」を学びました。僕はキャンプの期間中、仲間にたくさん応援されて元気がわき、最後まで頑張り切ることができました。もし、仲間がいなかったら、自転車も登山も最後まで頑張れなかったと思います。また、たくさんの方が、僕たちのことを支えてくれたおかげで、安心して活動することができました。例えば、僕がけがをした時にボランティアの方がすぐに駆け付け、手当てをしてくれました。そんな優しい人たちに支えられている僕たちは、幸せ者だと思いました。僕が大人になったら、ボランティアの方のような優しい人になりたいです。

9 成果

- ・昨年度よりも1日短い日程となり、自転車行程から登山行程までの体力が回復できるか心配であったが、中日の活動を極力体力の使わないものにしたことで、体調不良者等を出さずにキャンプを進めることができた。
- ・最初の2日間で、仲間づくり活動を十分に行ったことが、その後の仲間同士の信頼関係の構築に役立った。また、安心して仲間と一緒に活動に取り組める雰囲気づくりができ、最後まで励まし合うことができた。
- ・自転車行程では昨今の猛暑を考慮し、計画段階で例年よりも約1時間多く配分した。その結果、当日は富山県として過去最高の気温となったが、全員が無事にゴールまで辿り着くことができた。
- ・登山行程では記録的な豪雨により、登山を断念する場面が多かったが、居合わせたスタッフで連携し合い、安全第一で移動する判断ができた。また、例年よりも登山ガイドを1名増員したことで、高い専門性の視点から安全を確保することができ、全員が無事に大汝山まで辿り着くことができた。

10 今後の課題

- ・毎年ボランティアの確保に苦労している。参加者が安心・安全に活動するためには、各班に2名以上のボランティアリーダーを確保する必要がある。引き続き、柔軟な参加日程の対応や十分な募集、広報を行う必要がある。
- ・昨年度までは文部科学省委託事業として実施していたが、今年度より地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業として実施することとなった。それに伴い、予算の確保が課題となるので、協賛企業を増やしたり、協力金や寄付金を募ったりすることで、十分な財源を確保する必要がある。